

消防団活動を通して

第5分団
副分団長

樫山光二さん



第5分団副分団長を引き受けてから、早くも1年が経とうとしています。

団員経験のない私にとって、消防団という未知の世界は不安だらけの1年でした。しかし、分団長をはじめ、1年生・2年生団員、更には予備隊の皆さん、地域住民の皆さんのご協力により副分団長職という大役を遂行してこれたと思います。

現在の消防団活動としては、火災出動に備えての放水実践訓練および消火栓点検、水害に備えての水門点検など数々の重要な任務を任されております。

そんな活動のなかで副分団長として常々思っていることがあります。それは団員の安全を最優先させるという事です。これからも集中し、緊張感を持って、的確な指示を団員に出していきたいと思っています。

ただ、消防団活動が地域住民の皆さんにどれだけ理解されているのかという懸念は少なからずあります。仕事が終わってからの消防団訓練は、皆さんが思う程生易しいものではありません。それでも団員たちは弱音も吐かず、訓練に参加し消防の知識を身につけようと頑張っています。

かけがえのない仲間たちに、これからも皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第3分団
部長

生田悠さん



消防団に大変なイメージを持つ人は多いと思います。私もそのイメージを抱いていました。しかし、団員として年齢や立場の異なる人たちと話すことで刺激を受け、自分の成長を感じ、とても充実しています。

私は微力ながらも地域のために頑張っています。何より消防団を通して出会った皆さんは、私の誇りです。そのため、就職活動では消防団のことを前面に話しました。何かやりたいとくすぶっている学生や地域の皆さんへ、若い力で大好きな碧南を共に盛り上げていきましょう。

消防団Q & A

Q消防団員の任期はどれくらいですか。

A任期は5年です。3年目からの3年間は、消防予備隊として活動します。訓練回数は大幅に減り、大きな災害が起きた場合などに活動します。

Qどんな人が団員になれるのですか。

A満18歳以上、市内在住・在勤で健康上問題がない人です。

Q市内にある分団数は。

A5つの分団で市内各地区を分担しています。第1分団（新川、中央の一部）、第2分団（大浜）、第3分団（棚尾、中央の一部）、第5分団（旭）、第6分団（西端）

Q消防団の主な活動内容は。

A①火災、台風、地震などの災害対応②操法訓練、非常招集訓練、水防訓練などの各種訓練③4大行事への参加④各分団レクリエーション行事や地区行事への参加などです。

Q報酬や退職報償金はありますか。

A報酬は1年ごとに階級に応じて支給され、退職報償金は勤務年数に応じて支給されます。

報酬（年額）

団員		予備隊	
役職	金額（円）	役職	金額（円）
団長	163,000	隊長	81,500
副団長	125,000	副隊長	62,500
分団長	73,500	分隊長	36,800
副分団長	60,500	副分隊長	30,300
部長	41,500	班長	20,800
団員	36,500	隊員	18,300

退職報償金

階級	勤務年数			
	2年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	
団長・予備隊長	118,000	206,000	294,000	
副団長	112,000	196,000	279,000	
分団長・分隊長	108,000	188,000	268,000	
副分団長・副分隊長	102,000	178,000	253,000	
部長・班長	94,000	164,000	233,000	
団員・隊員	86,000	150,000	214,000	

※そのほか支度金として入団時に3万円を支給します。

Q活動中にけがをしたときの保障はありますか。

A活動中のけがなどには、補償制度があります。

消防団活動中にけがをしたときは、医療費の全額を補償します。そのほか、けがのために収入がなくなったときの休業補償や治療後障害が残ったときの障害補償、死亡したときの遺族補償制度が整っています。

問合せ 防災安全課防災係